

全
広
連

二〇二〇年六月二十三日発行/奇数月一回五日発行/通巻一〇八八号/昭和三十九年二月十二日第三種郵便物認可
発行/公益社団法人全日本広告連盟 〒一〇四・〇〇六一 東京都中央区銀座七丁目四番十七号電通銀座ビル七F
電話〇三・三五六九・三五六六 www.ad-zenkoren.org
定価四五〇円(購読料は金費を含む)

広告の元気は、ニッポンの元気。

全 広 連

Special Report
第68回 全日本広告連盟 ふくしま大会



岡山県真庭市/さまざまな願いを金色の「光」に込めて



公益社団法人
全日本広告連盟
JAPAN ADVERTISING FEDERATION

www.ad-zenkoren.org

「大会を終えて」



第68回全日本広告連盟
ふくしま大会組織委員会 会長
渡邊 博美

福島県で初開催となる第68回全日本広告連盟ふくしま大会はご登録いただきました全国1,150名の会員の皆様をお迎えする準備を進めて参りましたが、新型コロナウイルスの感染拡大という事態を受け、事前収録した映像をインターネットで配信する初めての試みで大会を開催させていただきました。

大会配信期間中に全国の広告協会員、関係者の皆様には1,959回にのぼるご視聴をいただきました。心より御礼を申し上げます。また、配信動画の収録に際しましては、鈴木三郎助大賞を受賞された岩手、愛知、福岡そして次年度開催地の山陰の各広告協会の皆様方、日本宣伝賞の受賞者の皆様方のご理解と迅速なご対応をいただき大会を開催することができました。皆様方のご協力に感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの収束後には、全国の皆様にお越しいただき、着実に復興が進んでいる活力にあふれた「ふくしま」を、ご自身の目で確かめていただければ幸いです。

今大会が皆様にとって有意義なものとなり難局を乗り越える一助になればとの思いを込めまして大会で発表しました「ふくしま宣言」を掲載させていただきます。皆様からお寄せいただきました温かい激励にあらためて感謝を申し上げます。ありがとうございました。

『ふくしま宣言』

今大会は「つくる！広告で、未来100年。」～2020ふくしま発～をテーマに、福島の地から日本の未来や広告の可能性を発信いたしました。東日本大震災、東京電力福島第一原発事故を経験した福島県での大会が全国の広告業界のさらなる発展の契機になることを確信しています。

ふくしま大会を原点とし、全国の広告主、広告媒体社、広告会社の皆様が力をあわせて「新型コロナウイルスに打ち勝ち、広告の力で社会の閉塞感を打ち破り、日本の未来を切り開き、作って行こう。」との決意を、ここに宣言いたします。

広告の元気は、ニッポンの元気。

2020

全広連

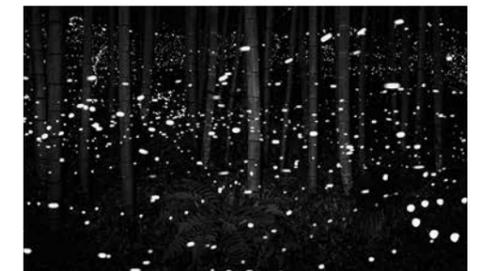
Vol.1088

7

CONTENTS

- 2 Special Report 第68回全日本広告連盟ふくしま大会開く
- 5 次回大会案内 来年は山陰(鳥取・島根)へ
第69回全日本広告連盟山陰大会ご案内
- 7 …………… 通常総会・理事会報告
- 8 …………… CLIP BOARD

Cover Photo



岡山広告協会
写真提供:隈部 政秀(くまべ まさひで)氏 倉敷市真備町在住

岡山県真庭市 さまざまな願いを金色の「光」に込めて

岡山県北の真庭市・北房エリアは県内有数のホタルの里。川沿いにゲンジボタル、ヘイケボタル、ヒメボタル(金ボタル)が生息する。特に珍しいヒメボタルはチカチカと大きく速い点滅が特徴で、例年6月中旬から7月上旬ごろ、幻想的な`金色の世界。`が広がる。自然豊かな岡山県はホタルの鑑賞スポットが多い。北房エリアは環境省の「ふるさといきもの里百選」にも選ばれ、新見市の天王八幡神社は金ボタル発生地として県天然記念物に指定されている。各所のホタル発生数が年々、減少傾向にある中、住民の手で自然環境を守る取り組みが続けられている地域もある。今年、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、多くのホタル関連イベントが中止された。その分、美しい乱舞は、まるで人間のさまざまな願いを「光」に込め、応援しているかのようだ。

大会テーマ 『つくる! 広告で、未来100年。~2020ふくしま発~』

第68回全日本広告連盟ふくしま大会開く



つくる! 広告で、未来100年。
~2020ふくしま発~

第68回全日本広告連盟ふくしま大会（主催：同大会組織委員会、(公社)全日本広告連盟）が、5月21日、事前に収録したプログラムをインターネット配信する形で開催された。

5月21、22日の両日に開催を予定し、1150名の申込があったが、その後の新型コロナウイルスの感染拡大の防止、参加者の健康と安全を最優先に考えた結果、全国から参加者を迎える開催を取りやめることとなった。福島広告協会創立55周年および東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故から10年目に入った節目の年でもあり、「つくる! 広告で、未来100年。~2020ふくしま発~」という大会テーマを掲げた。

高橋雅行大会組織委員会副会長が開会の言葉を述べ、式典がスタート。

渡邊博美組織委員会会長が、「広告の力で社会の閉塞感を打ち破り、未来を作る決意を福島の地から発信したいという思いで準備を重ねてきた。さきの震災では全国から多くの支援をいただき、着実に復興の歩みを進めている。これからはひとつひとつ課題を克服し、新たな産

業・文化の息吹をこの地から発信していくことが、我が国が持つ課題の解決にもつながると信じている。新型コロナ



高橋副会長



渡邊会長

ナウイルスが終息した暁には、ぜひ活力にあふれた福島の地に足を運んでいただきたく、一丸となってこの事態を乗り越えてまいりましょう」と歓迎挨拶を行った。

続いて、大平明全広連理事長が登壇。「福島広告協会創立55周年の節目の年に大会を開催していただいたことを大変うれしく思っている。複数年にわたり大会プログラム・視察などについて様々な検討準備を重ね、数十回にも上るミーティングを経て準備をしてくださったことに深く感謝する。当初予定されていた福島第一原子力発電所の見学でも、防護服なしで安全に視察できる状況にまでなっていたと伺った次第だった。

昨今、福島県からの広告作品は国内外の多数の広告賞を受賞されている。今日、新型コロナウイルスの影響で広告界も大変困難な状況にあるが、「ふくしま」の不屈の精神に学び、新しい時代を切り開いていきたい。全広連は、引き続き『広告の元気は、ニッポンの元気。』をスローガンに掲げ、加盟37広告協会の皆さまと手を携えてまいります。」と主催者挨拶を行った。



大平理事長

続いて、内堀雅雄福島県知事が開催へのメッセージを寄せた。

贈賞に移り、「第14回全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞」が『#ThankYouFromKAMAISHI』を実施した#ThankYouFromKAMAISHI実行委員会に、「同・選考委員会特別賞」が『防災・減災キャンペーン』を実施した福島民報社に贈られた。

大賞受賞の謝辞を、#ThankYouFromKAMAISHI実行委員会を代表して釜石市長の野田武則氏が述べた。

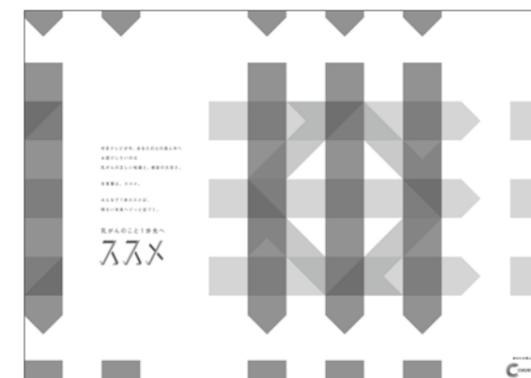
「同・地域クリエイティブ大賞」は『BREAST CANCER CHECK!』を実施した中京テレビ放送株式会社に贈られ、同社・代表取締役社長の丸山公夫氏が謝辞を述べた。優秀賞は『熊本フォーリンラブ』を実施した九州旅客鉄道株式会社に贈られた。



#ThankYouFromKAMAISHI



防災・減災キャンペーン



BREAST CANCER CHECK!



熊本フォーリンラブ

「第8回全広連日本宣伝賞」各賞の贈賞式では、松下賞を上原明氏（大正製薬ホールディングス株式会社代表取締役社長、大正製薬株式会社 取締役会長）、正力賞を糸井重里氏（『ほぼ日刊イトイ新聞』主宰、株式会社ほぼ日 代表取締役社長）、吉田賞を高田坦史氏（一般社団法人ACC 理事長）、山名賞を佐藤可士和氏（クリエイティブディレクター）へ贈り、各受賞者が謝辞の言葉を届けた。



上原氏



糸井氏



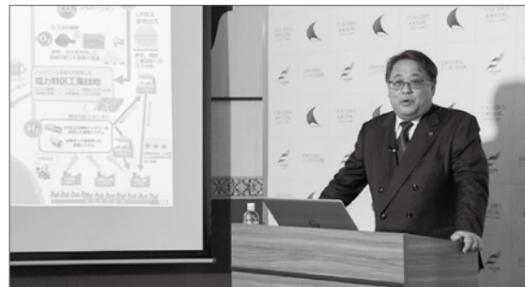
高田氏



佐藤氏

アトラクションとして福島を拠点とする女性メンバーで構成されるFabulousSistersによる華麗なダンスが披露された。

記念講演は「バッテリー産業を通じた福島の未来づくり」と題して、東洋システム株式会社 代表取締役 庄司秀樹氏による講演が行われた。



庄司氏

来年5月の第69回全広連山陰大会開催に向けて、山陰広告協会から山陰大会組織委員会会長の松尾倫男氏が開催地紹介を行い、渡邊氏とのビデオ通話も通じて全国の会員へ大会への参加を呼びかけた。



渡邊氏と松尾氏によるビデオ通話

最後に、渡邊組織委員会会長が「ふくしま宣言」として、「新型コロナウイルスに打ち勝ち、広告の力で社会の閉塞感を打ち破り、日本の未来を切り開き、作っていく」という決意を述べた。

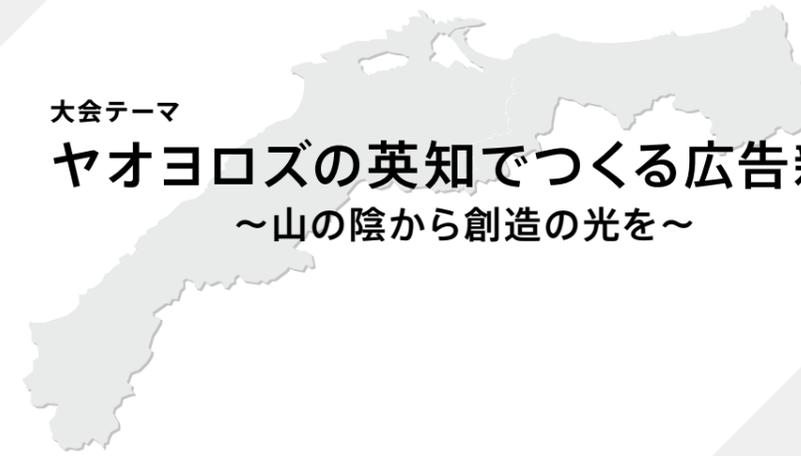
結びに、閉会の言葉を五阿弥宏安組織委員会副会長が述べて全2時間のコンテンツを終了し、閉会となった。

来年は山陰(鳥取・島根)へ 第69回全日本広告連盟山陰大会ご案内

大会テーマ

ヤオヨロズの英知でつくる広告新話

～山の陰から創造の光を～



2021
SANIN

第69回 全広連山陰大会事務局

「八雲立つ 出雲八重垣 妻籠(ご)みに 八重垣作る その八重垣を」

古事記によると、八岐大蛇(やまたのおろち)を退治した須佐之男命(すさのおのみこと)は妻をめとり、住まいを建てる場所を求めて須賀(すが)の地=現在の雲南市大東町付近=に至りました。

須佐之男命は「吾ここに来て 我が心すがすがし」と言い、宮と八重垣をつくりました。その時、雲が幾重にも湧きたったことから、祝婚歌として最古の和歌といわれるこの歌を詠んだといわれます。「出雲」の地名の由来にもなっています。

雲が湧き出雲一。因幡(鳥取県東部)から伯耆(同中西部)、出雲(島根県東部)、石見(同西部)に至るまで、山陰は神話に彩られた地です。

第69回全日本広告連盟山陰大会は、2021年5月20日(木)から22日(土)まで、松江市を主会場に開きます。

テーマは「ヤオヨロズの英知でつくる広告新話～山の陰から創造の光を」。

旧暦の10月は全国的には「神無月」となりますが、出雲地方は「神在月」として、全国から神々が集まって縁組や農業など、さまざまな事柄について話し合われる「神議り(かみはかり)」が執り行われます。

この神話にちなみ、山陰大会のテーマには、神々

の地に雲が湧きたつかにように全国の英知を結集し、「ご縁」を結びながら広告や地域の未来を切り開く大会にしたいという思いを込めました。

大会マークは「八百万(やおよろず)」を図案化しました。末広りの「八」の下の「ゼロゼロ」を光でつなぎ、無限大の中の光をイメージしました。広告業界の無限の可能性を表現するとともに、山陰大会に参加される方の、ますますのご発展を願っています。

広告媒体の多様化、消費者のライフスタイルの変化などによって広告業界は大きく様変わりしています。とりわけ地方では、人口減少、超高齢化社会の到来という中で、今後への模索が続いています。

そうした中で、それまで目を向けられなかったものの中に潜む価値、小さいからこそその価値、そうしたものを見いだしていこうという思いが大会テーマとマークに詰まっています。

また、新たな課題として、新型コロナウイルス感染症の流行は、私たちの仕事や人々のライフスタイルを、世界規模で変える可能性があります。先の見通せない変化の中で、広告はどこに向かうのか、地方はどうあるべきか、地方と都市のかかわりはどうあるべきなのか、そうした課題を解決する光を見いだす大会にしたいと願っております。

通常総会・理事会報告



縁結びの神様として知られる出雲大社

大会は20日に鳥根県民会館で式典、鳥根コンベンションセンター「くにびきメッセ」で懇親会を開きます。21日にエクスカッションと懇親ゴルフ、22日は前日から1泊コースのエクスカッションを計画しています。

エクスカッションは出雲大社への正式参拝や、それまでの国内の出土総数さえも超える発見となった358本の弥生銅剣などを展示する古代出雲歴史博物館見学をはじめ、因幡の白兔伝説も残る鳥取砂丘と砂の美術館、日本一の庭園を持つ足立美術館やアニメを生かしたユニークな町づくりに取り組む水木しげるロード、八岐大蛇神話とも結びつきたたら製鉄と奥井雲、松江の文化を

味わうショートコース、隠岐の島（1泊）などを計画しています。全国の水揚げの4割を占める宍道湖のヤマトシジミ、鳥取、島根両県のブランド牛、松江市の和菓子とお茶文化など特色ある食とともに楽しみください。

交通機関は、空路は出雲空港（JAL、FDA）と米子空港（ANA）で、いずれもJR松江駅まで空港連絡バスで30分です。JR岡山駅から松江駅までは特急やくもで2時間40分。宿泊は松江市中心（一部米子市を計画）となります。

山陰の魅力を参加者の皆様に存分に味わっていただきながら、実りある大会にしていきたいと思います。皆様の参加をお待ちしております。

書面による第68回通常総会、令和2年度第2回理事会を実施

第68回通常総会を、書面提出による決議の省略（みなし決議）の形式で開催し、6月8日に全正会員より同意を得た。

例年はその年の全広連大会開催地にて大会前日に正会員である加盟37広告協会から代表者らが出席し開催しているが、新型コロナウイルスの影響により実開催をとりやめたもの。

総会の目的である事項として第1号議案・令和元年度

決算書類承認の件及び、第2号議案・任期満了に伴う理事及び監事選任の件（役員改選）、が書面で提案され、6月8日までに正会員の代表者全員から同意書の提出があり、同総会の決議があったものとみなされた。

例年、総会に引き続き開催している理事会についても、本年は令和2年度第2回理事会として同様に書面によるみなし決議で行い、理事長、副理事長、筆頭執行理事、執行理事の選定について6月8日に新理事・監事の全員から書面による同意を得て決議があったものとみなされた。

新理事・監事は下記の通り。

【第68回通常総会議題】

第1号議案 令和元年度決算書類承認の件

第2号議案 任期満了に伴う理事及び監事選任の件

全広連新理事・監事一覧（順不同・敬称略）

※は新任

任期：第68回通常総会（令和2年）終結の時～第70回通常総会（令和4年5月）終結の時まで

理事長	大平 明	(公社)東京広告協会理事長	理事	田中正樹	(一社)愛知広告協会理事長※
副理事長	高橋雅行	福島広告協会会長兼理事長		井手良昭	(公社)大阪広告協会専務理事※
	松尾倫男	山陰広告協会会長※		橋高知樹	広島広告協会理事長※
筆頭執行理事	長崎之保	(公社)東京広告協会専務理事		山中 総	徳島広告協会※
執行理事	中井良博	(公社)東京広告協会常務理事・事務局長		西山治宏	福岡広告協会理事長
理事	鹿又久孝	仙台広告協会事務局長※	監事	龍宝正峰	(公社)東京広告協会
	片上 崇	(公社)東京広告協会理事		石村泰利	静岡県広告協会事務局長
	西川 新	山梨広告協会専務理事※			



松江市のシンボル松江城



ゲゲゲの鬼太郎が迎える水木しげるロード



山陰の特徴ある自然の一つ鳥取砂丘



庭園が美しい足立美術館



INFORMATION

全広連の活動(令和2年7月～9月)

- 活動日程 全広連夏期広告大学
富山・大阪・岡山・山陰・愛媛の5会場で開催予定です。
新型コロナウイルスの影響により、開催時期を調整中のため、最新の情報は全広連ホームページよりご確認ください。

加盟各地広告協会 人事 [順不同・敬称略]

理事長就任	【愛媛広告協会】	山口晃二氏(愛媛新聞社取締役営業局長) 4月1日付
	【宮崎広告協会】	見山輝朗氏(宮崎日日新聞社業務局長) 4月1日付
	【富山広告協会】	駒澤信雄氏(北日本新聞社代表取締役社長) 6月1日付
事務局長就任	【富山広告協会】	有沢和雄氏(北日本新聞社営業局次長兼企画事業部長) 5月20日付

加盟各地広告協会 新入会員社紹介 [順不同・敬称略]

【全北海道広告協会】(1社1名) ■株ジェイアール東日本企画 ソーシャルビジネス開発局札幌営業所所長 小林浩	【富山広告協会】(1社1名) ■株パーク 代表取締役 小林永	【鹿児島広告協会】(2社3名) ■株FCR 代表取締役 宮地隆典 クリエーティブ・ディレクター 石神和哉 ■株九州博報堂 南九州ビジネスデザイン局局长 佐々木秀文
---	---	---

【お願い】人事異動などによる会員の交代や役職の変更等が生じ、機関誌「全広連」の発送先が変更になった場合は所属広告協会事務局へご連絡をお願いします。

全広連「賛助会員」のご案内

全広連では、加盟37地域広告協会の「正会員(37)」に加えて、本連盟の事業に賛同して特にその事業に協力する個人、法人又は団体による「賛助会員」を募集しております(年会費として、一口12万円)。なお、この他にも、全広連の団体運営や事業活動へのご支援のためのご寄付や、個別の公益目的事業へのご協賛などにつきましても随時受付けております。あたたかいご支援のほどお願い申し上げます。

【お問合せ】 公益社団法人全日本広告連盟 TEL:03-3569-3566

公益社団法人 全日本広告連盟 加盟37広告協会										全広連は、下記37広告協会の会員の皆様にお送りしています。
全北海道広告協会	秋田広告協会	東京広告協会	山梨広告協会	岐阜広告協会	大阪広告協会	広島広告協会	高知広告協会	熊本広告協会	沖縄広告協会	
青森広告協会	山形広告協会	横浜広告協会	富山広告協会	静岡県広告協会	神戸広告協会	徳島広告協会	福岡広告協会	大分広告協会		
岩手広告協会	福島広告協会	新潟広告協会	金沢広告協会	愛知広告協会	山陰広告協会	香川広告協会	佐賀広告協会	宮崎広告協会		
仙台広告協会	千葉広告協会	長野県広告協会	福井広告協会	京都広告協会	岡山広告協会	愛媛広告協会	長崎広告協会	鹿児島広告協会		

全広連の活動について詳しくはウェブサイトから ▶ www.ad-zenkoren.org